

川の流れを光で描写した二子玉川ライズの冬季環境演出

今村梨紗子 (東京都市大学) 中村有歩 芦立冨
上村文也 小林茂雄

一般的なイルミネーション

一般的なイルミネーションは人工的な演出が多く、光が目立つことで周辺の自然環境から孤立している。一般的な演出に人々の慣れや退屈さを感じている。



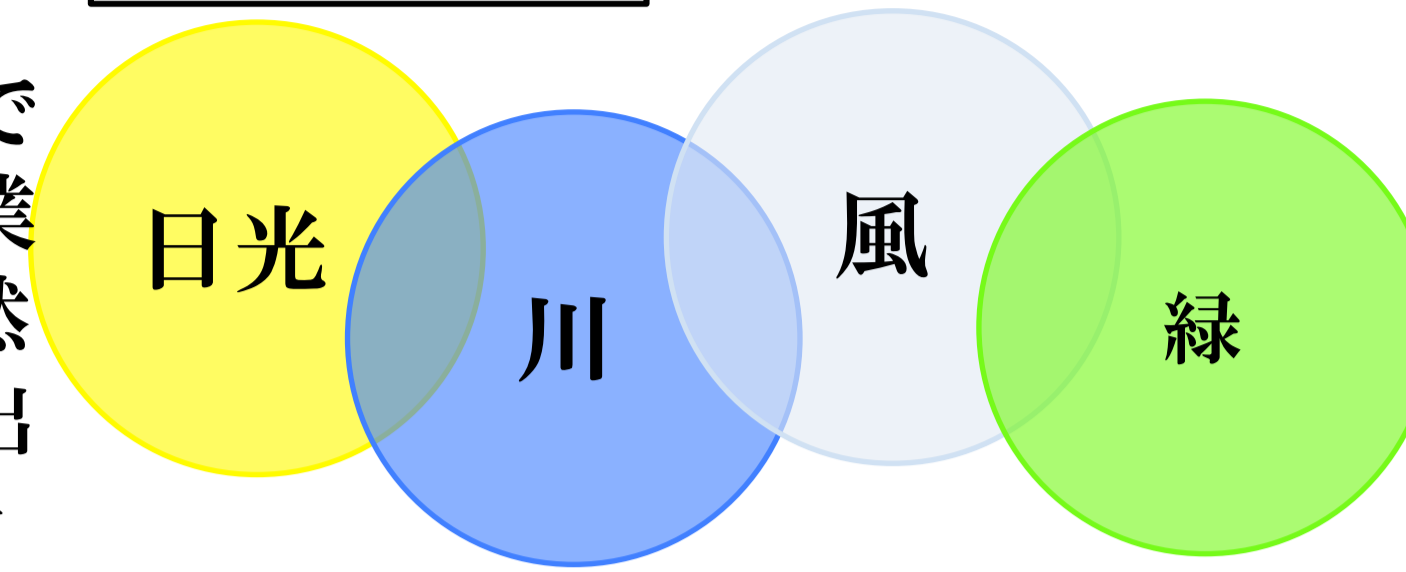
本研究の特徴

本研究では光や川、風などの自然環境を感じることで街への愛着の向上を目的とし、「環境体感」を促す商業演出を試みた。立地を活かした環境演出を検討し自然環境を肌で感じるような「自然環境体感型」の照明演出による独自性の差別化をはかる。そして自然環境要素を可視化させ地域特性を描写し、二子玉川らしい冬の照明演出の提案を行う。

実施概要

世田谷区玉川の二子玉川ライズショッピングセンターテラスマーケットの商業空間(リボンストリート)を対象に実験を行った。2015年11月14日～2016年2月29日までの3カ月の冬期環境演出「ときの旅人」によつての演出効果の調査と考察を行う。

周辺要素

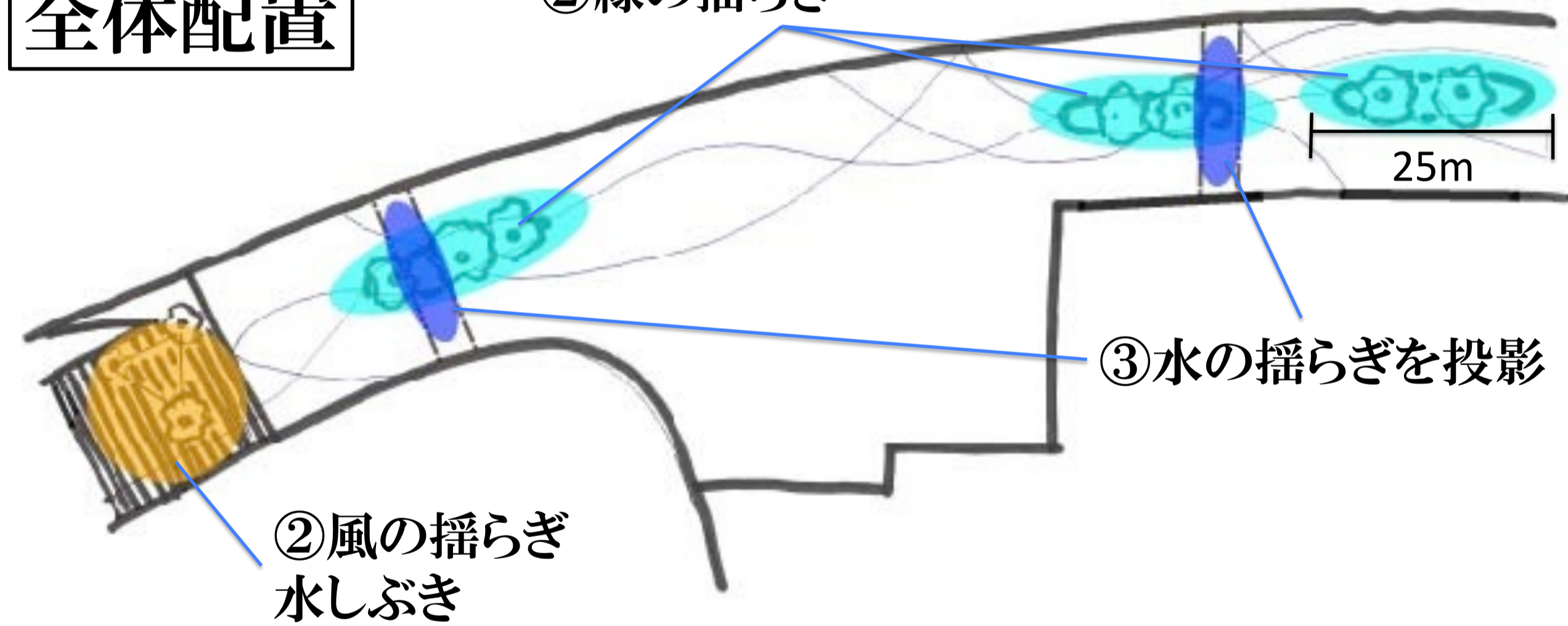


多摩川河川敷と国分寺崖線といった豊かな自然環境において発展した商業、オフィス、住宅などの複合施設である。駅から住宅地までをつなぎ、「水と緑と光」が調和した街づくりをテーマに恵まれた植栽環境を形成している。



全体配置

- ①川の流れの描写
- ②緑の揺らぎ



川の描写

多摩川をイメージして流れる川の曲線を描くよう路面を青色の光で染める。



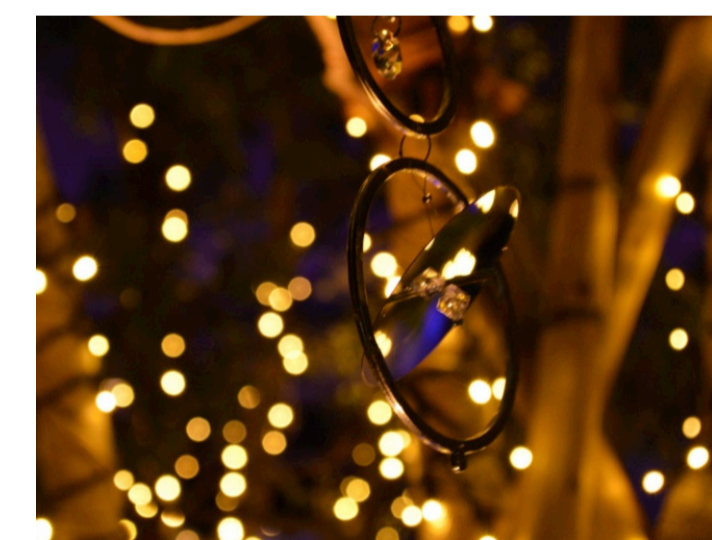
実験の様子

風と緑の揺らぎ

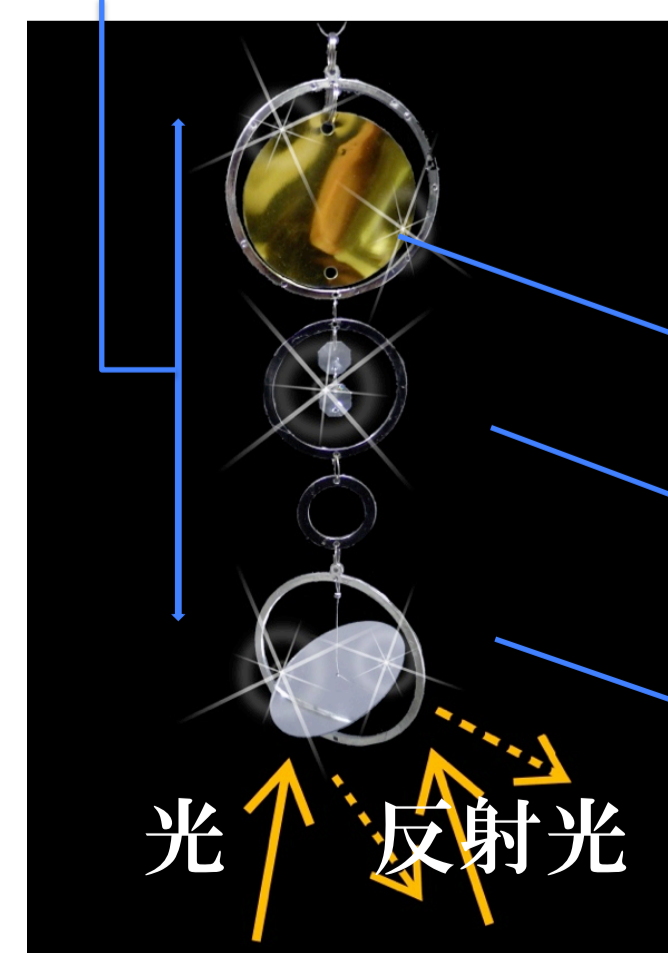
3種類の反射板により路面や壁面などに反射させる。風を動力に反射板が揺れることで揺らぐ光を形成する。



路面への反射光
風になびく長さ
樹木に溶け込むサイズ



現物写真

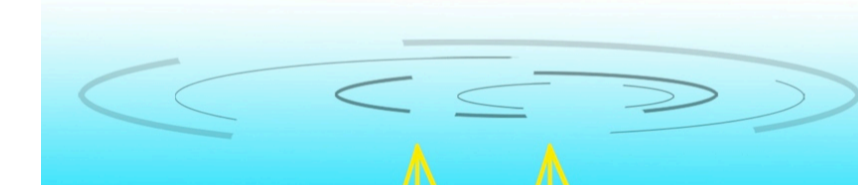


フォログラムシート
クリスタル
ミラー塩化ビニール

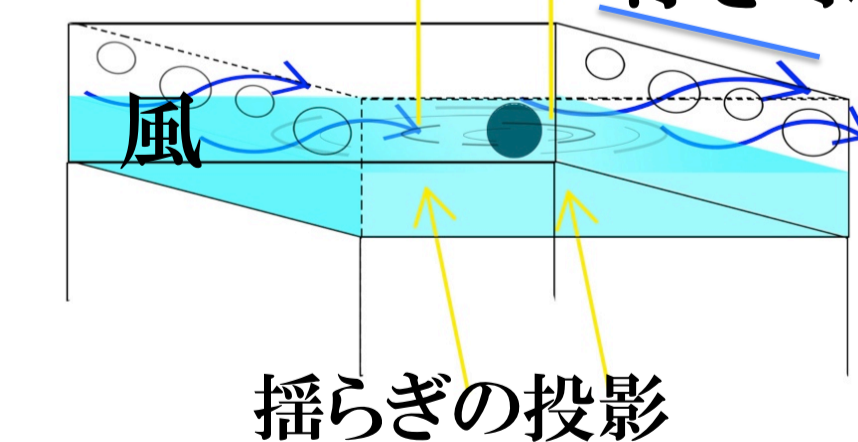
光 反射光

揺らぎの投影

水を張ったプラスチック容器を下から投光することで上部に揺らぎを投影する。容器内の浮きが風に反応し効率的に波紋を発生させる。

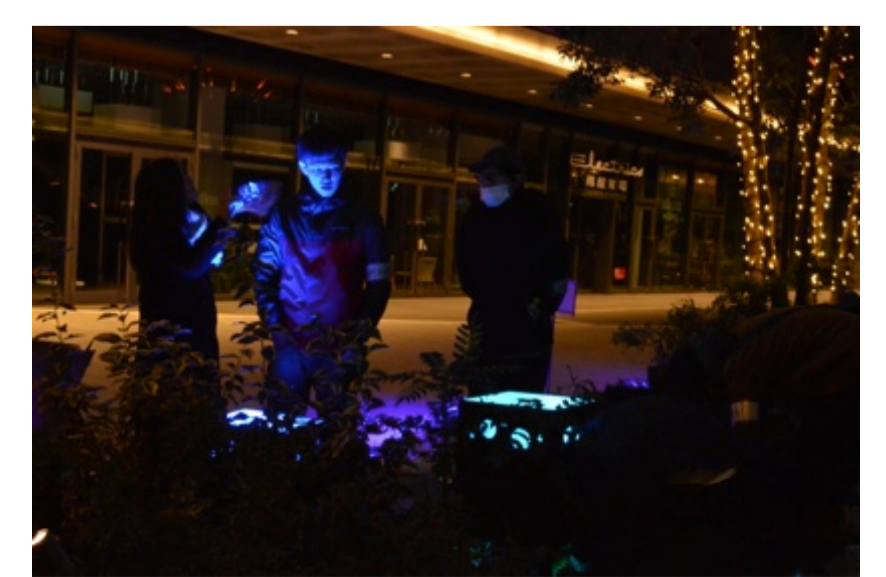


ブリッジの
下面に投影



風の通り穴

現物写真



実験の様子

アンケート評価項目

被験者:施設利用者や住民69名

体感評価項目

- ・緑が魅力的に感じられる
- ・風の流れを感じられる
- ・水の揺らぎをイメージできる
- ・光のきらめきが心地よい

3段階で評価

演出評価項目項目

- ・空間に温かみがある
- ・この場所を歩きたい
- ・インパクトがある装飾である
- ・装飾と周辺施設が調和している
- ・二子玉川の場所に合った装飾である

3段階で評価

パターン別評価実験

青色路面光

×

電飾

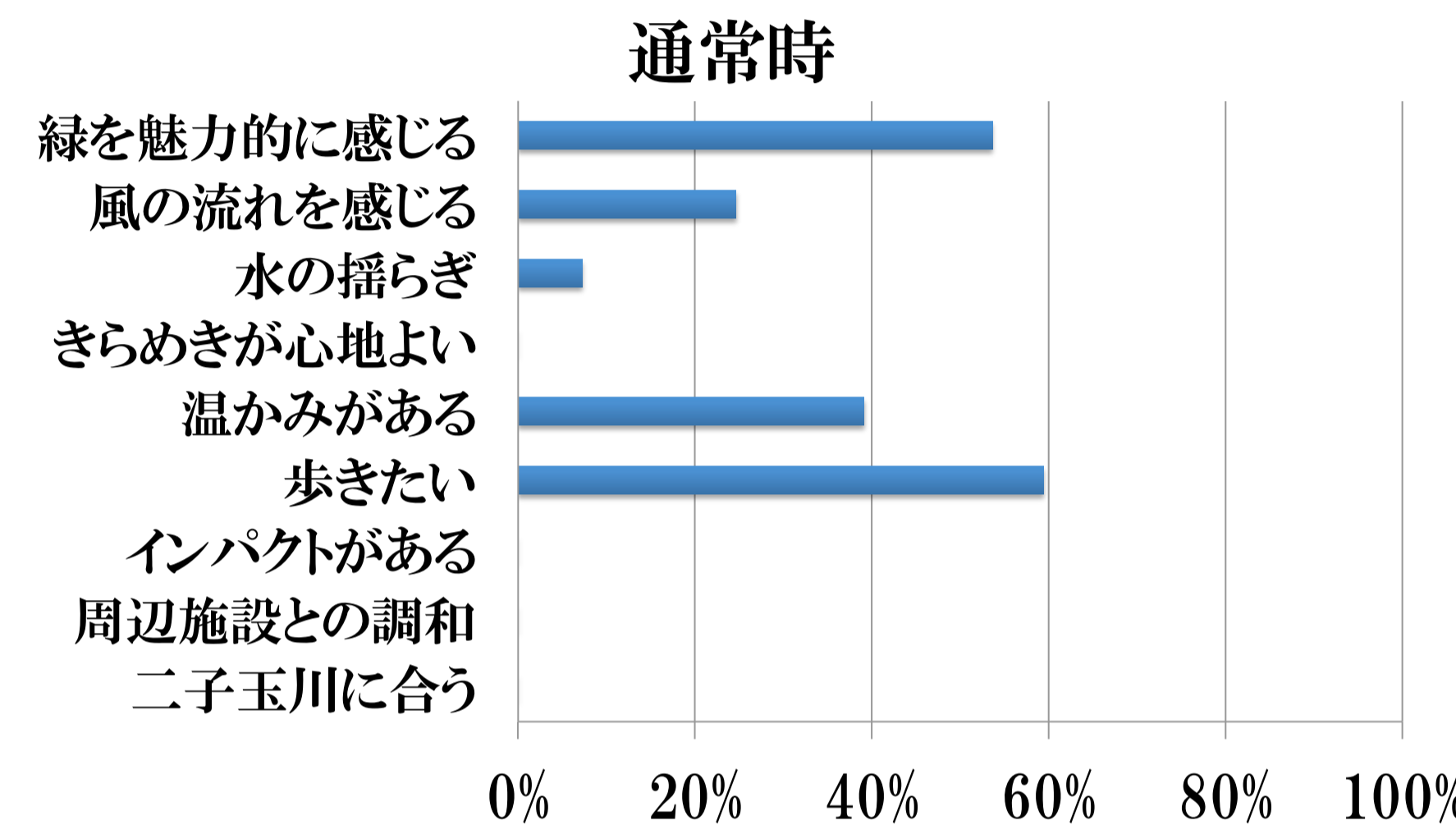
×

反射板へのスポット

通常時



アンケート結果



まとめ

二子玉川ライズの歩行者専用通路で
光・川・風・緑を光の揺らぎで表現
2015年11月14日～2016年2月29日

訪れる人々の個性を光で表現し、
演出に加え場所への愛着を高める



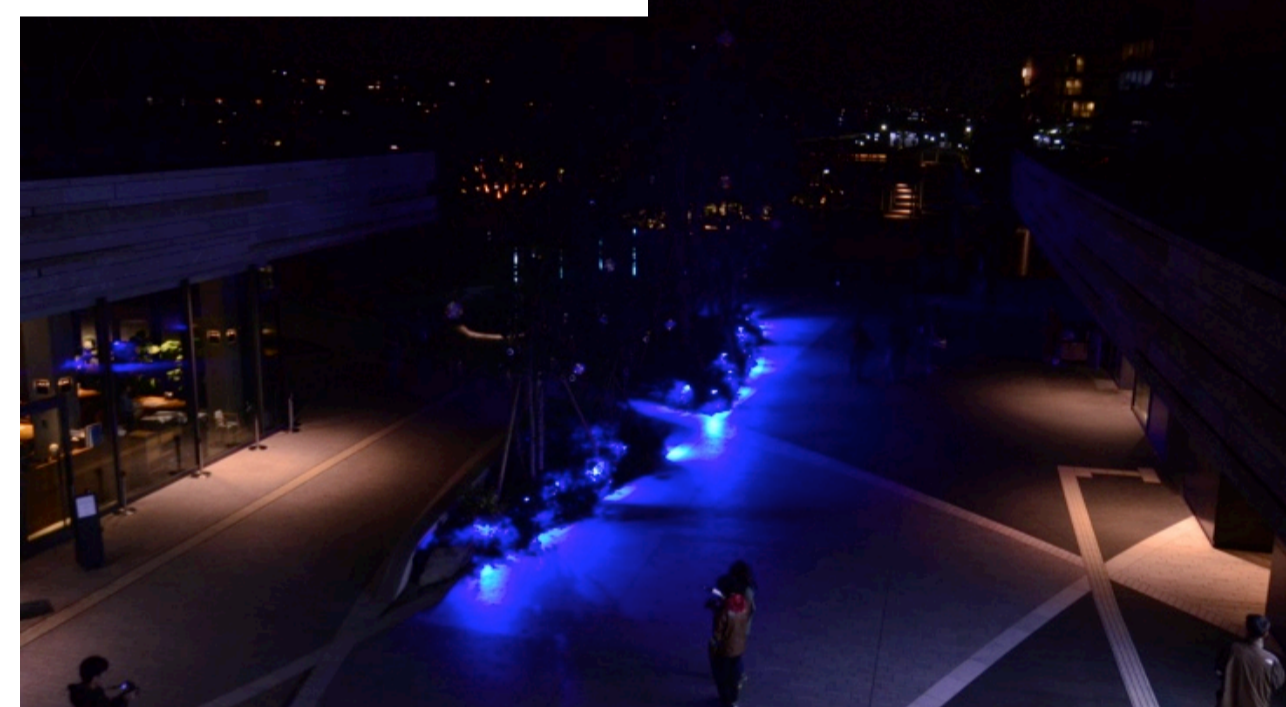
揺らぐ光を貼り付ける
参加型ワークショップの開催



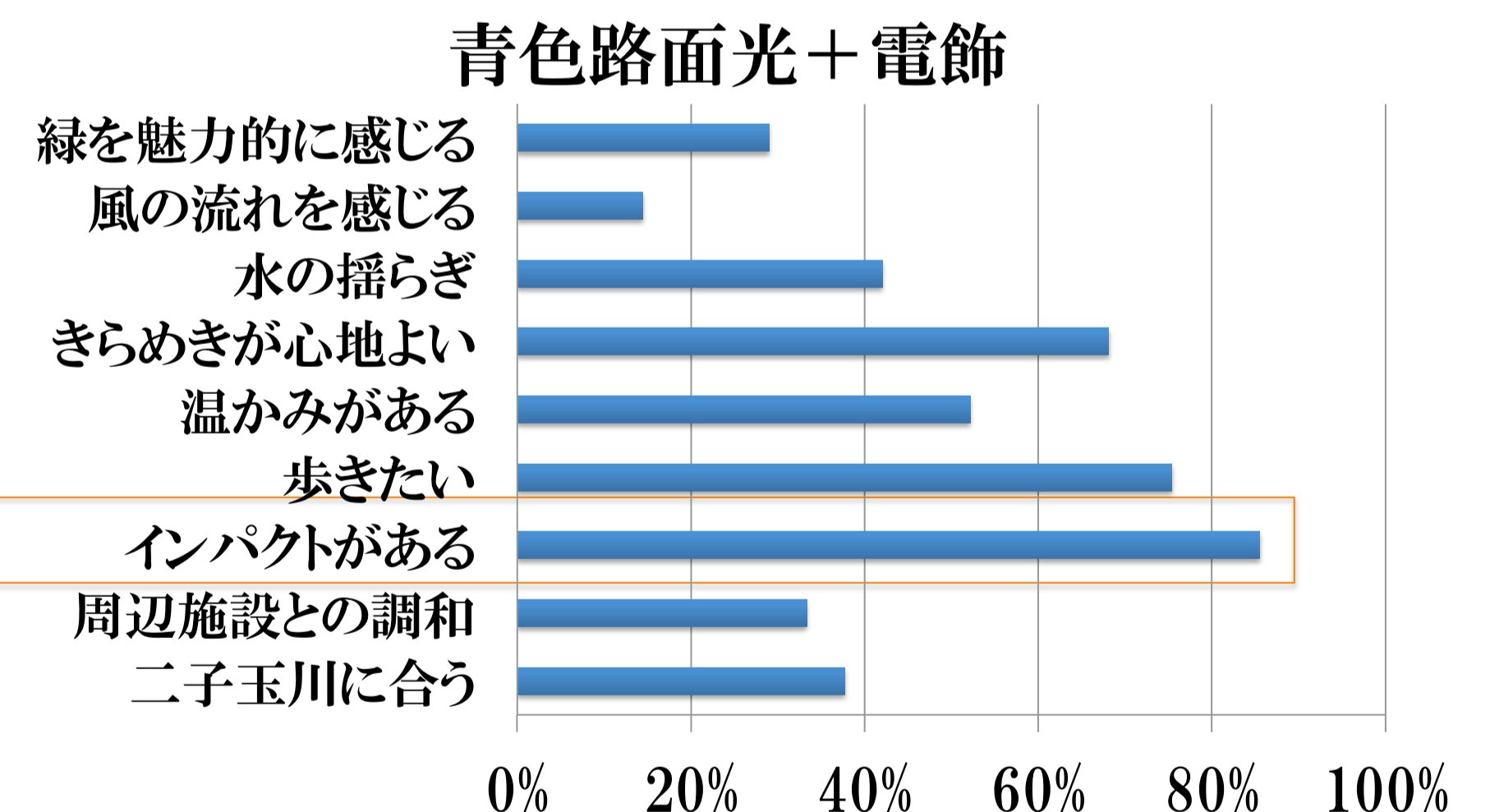
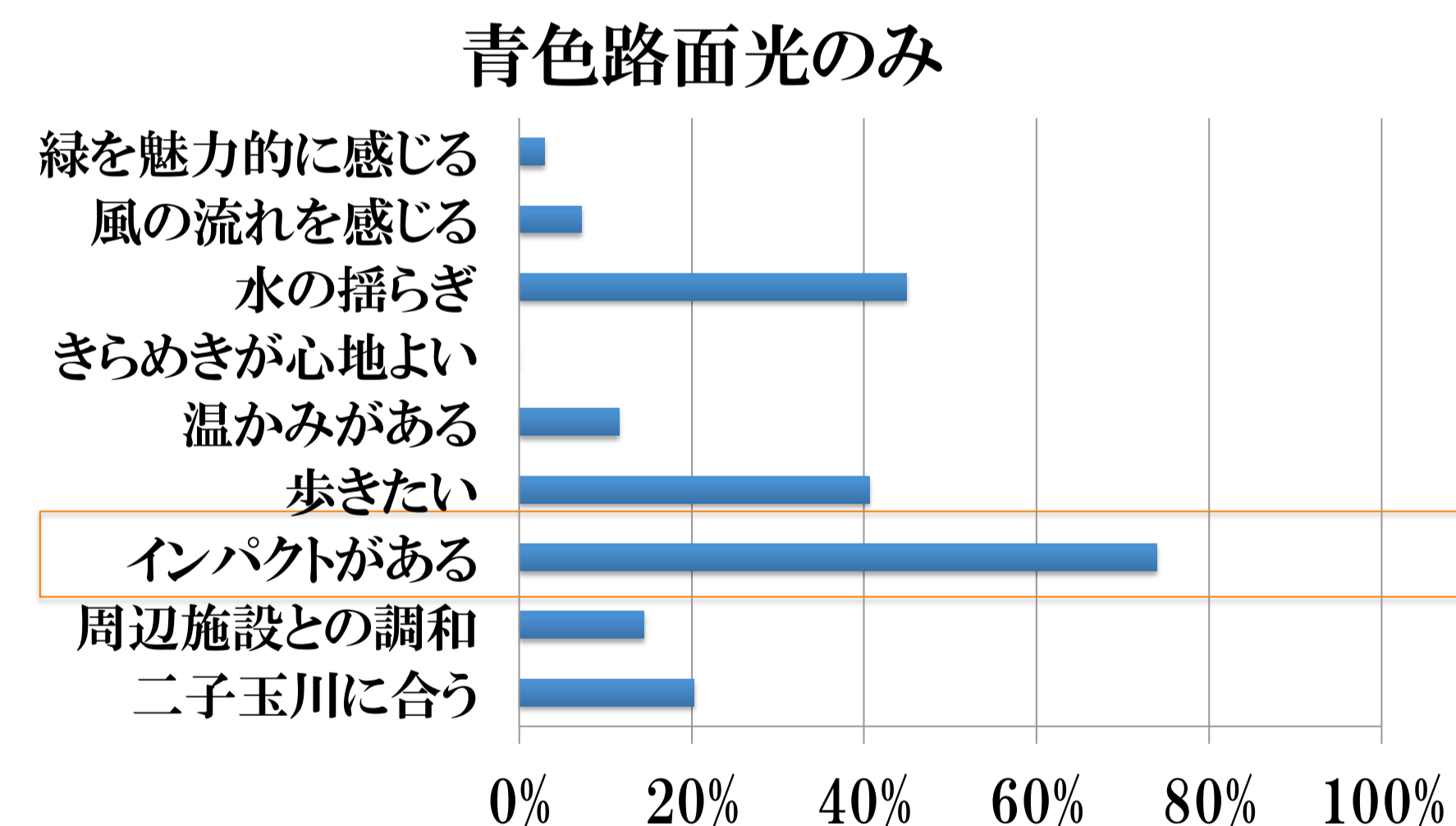
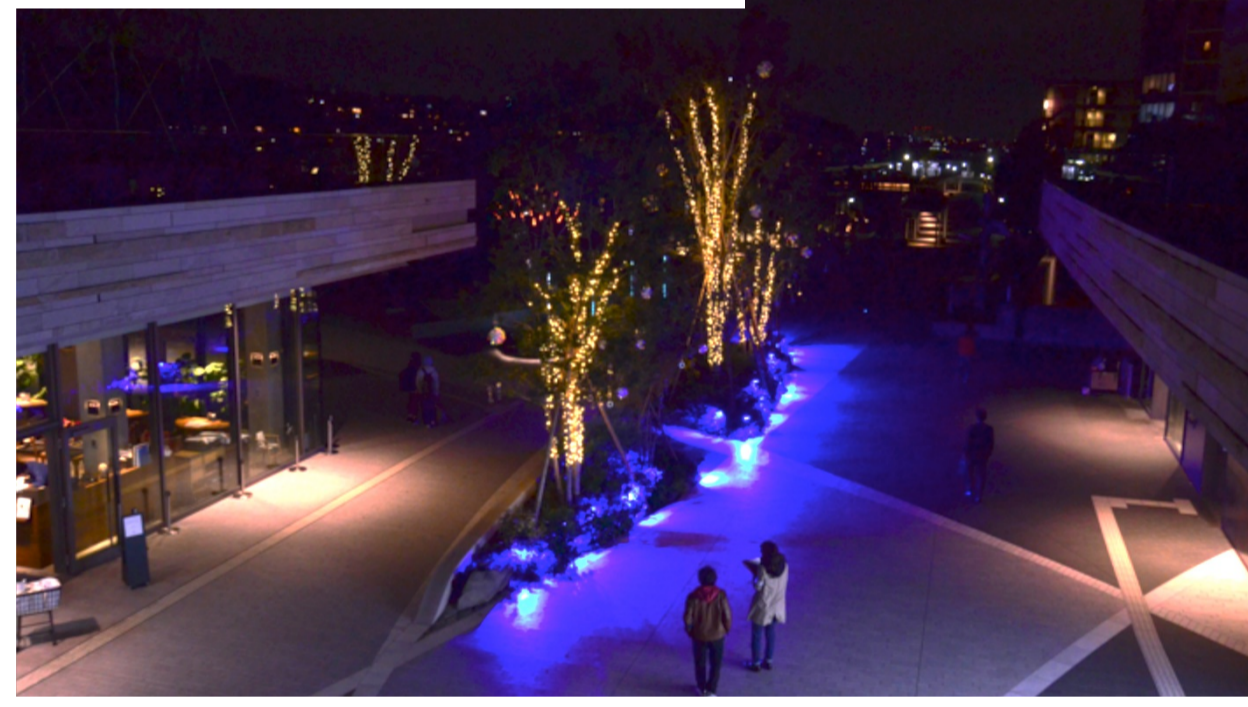
各項目で「そう思う」の評価が多かったパターン

自然体感+インパクト

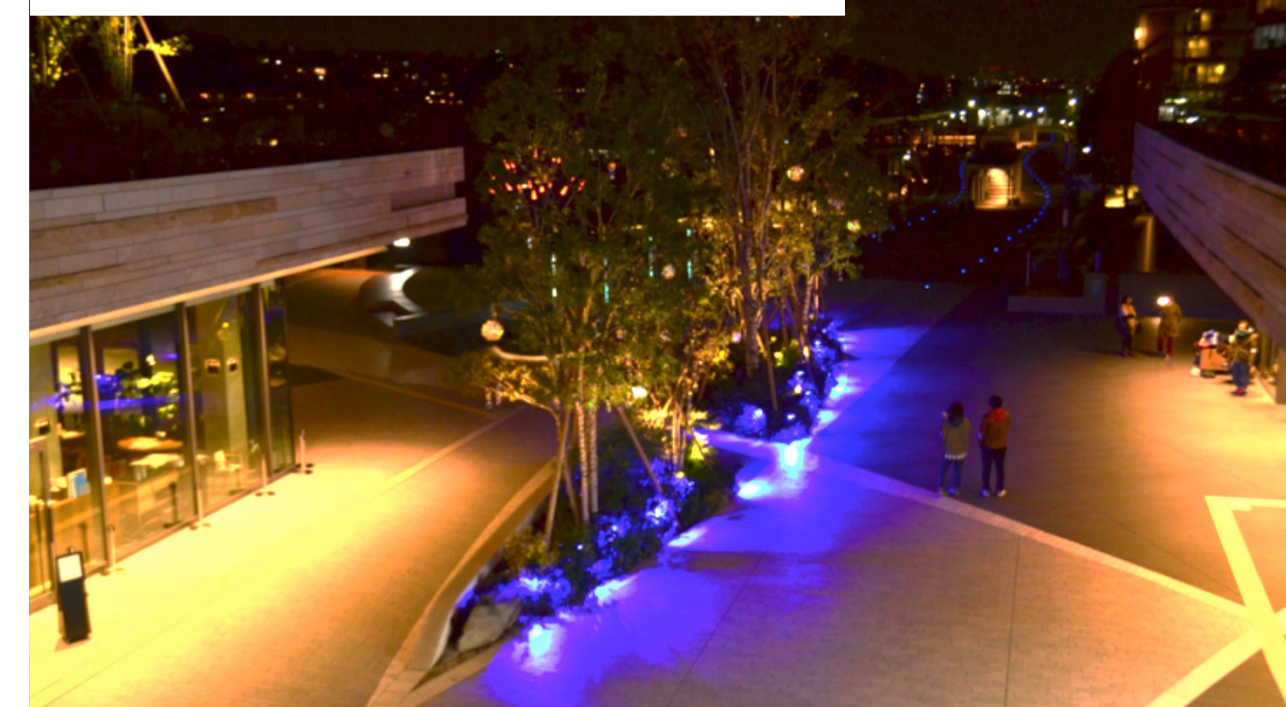
青色路面光のみ



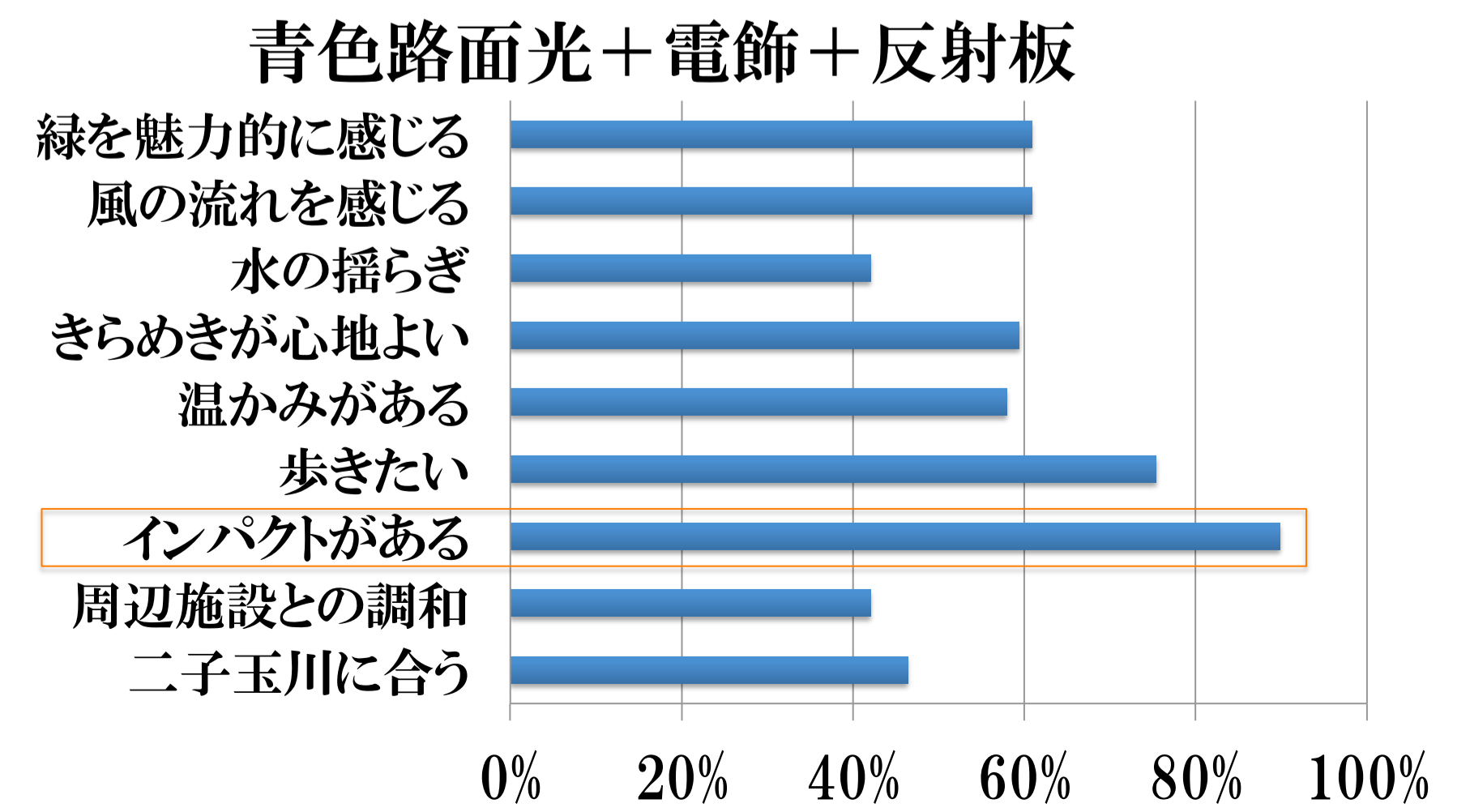
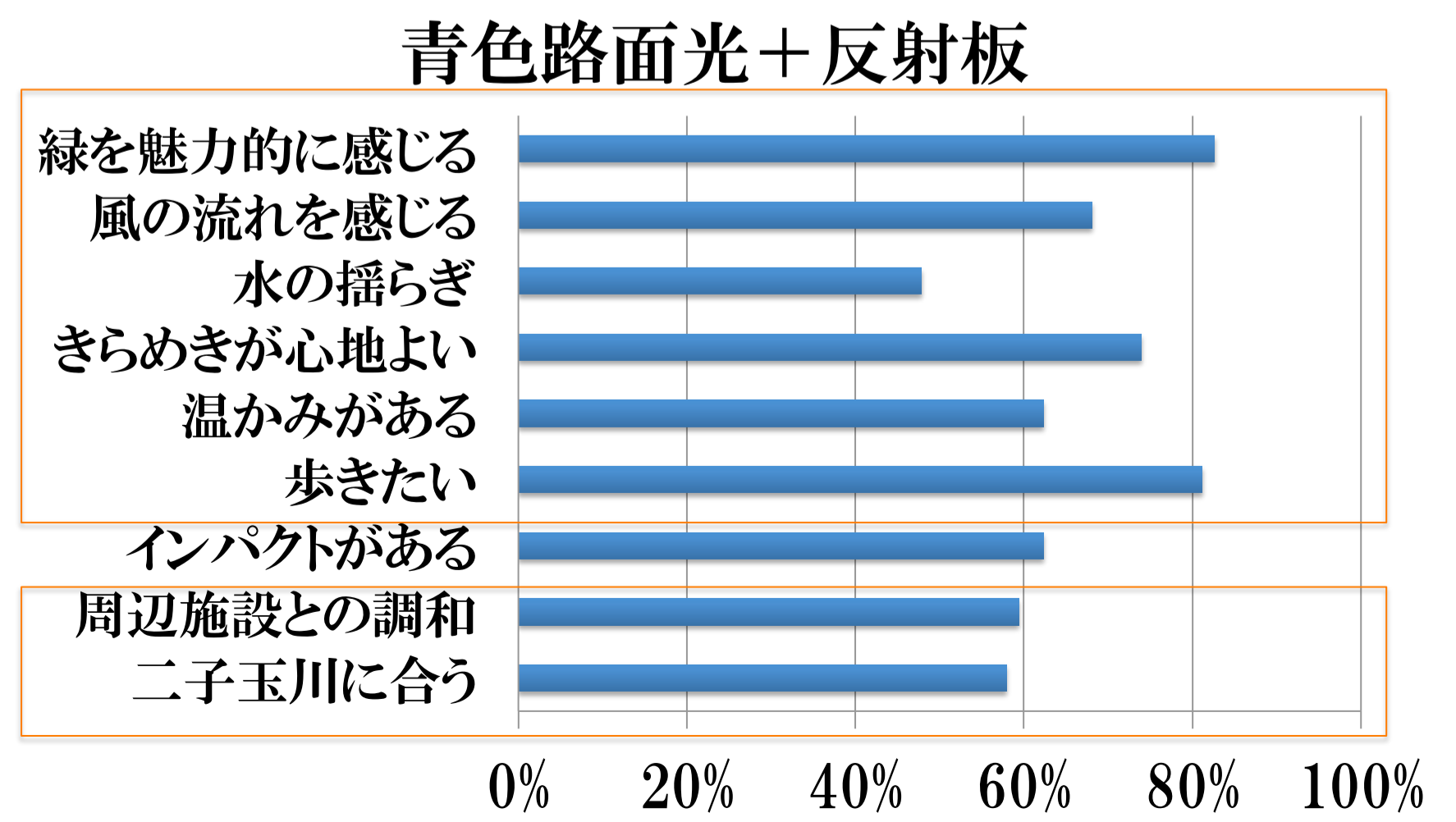
青色路面光+電飾



青色路面光+反射板



青色路面光+電飾+反射板



青色路面光+電飾+反射板へのスポット

電飾数 3000球(計180w) ゆらぎの投影 4台(計178w)
 反射板 2000枚(900本) 青色路面光 42台(計1110w)